

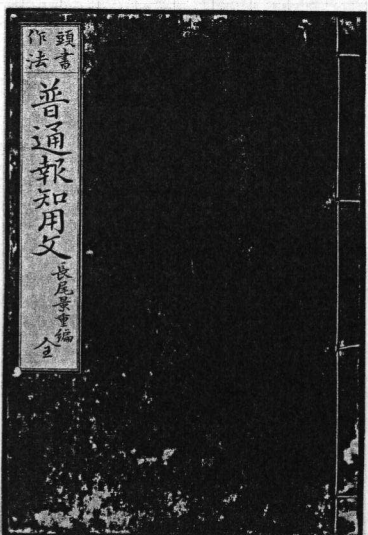
山内香溪 (やまうち かうけい) 書家。大保十四年(二四二一)。講昇。別

號研齋、香溪山樵、香溪逸士。

著書 可頭書 作法 可頭書 普通報知用文 (書、長尾景重編、明治十六年十月仙鶴堂、

稻垣武八發兌)、可赤穂 義士 可赤穂 高源吉兄弟手簡 (繪海兼筆者、明治二十

六年)二月二十四日小林喜右衛門他刊)等。



頭書
作法
普通報知用文
長尾景重編
全